

クライアント・サーバー型 TCP/IP ビデオ配信ソフトウェア

M's RemoteCast 操作説明書

1. はじめに

M's RemoteCast は、リアルタイム動作可能なネットワークへのビデオ画像配信ソフトウェアです。TCP/IP を用いたクライアント・サーバー形式で接続し、Web カメラでの映像（または PC 画面）および音声（マイク入力など）を配信します。

2. 特徴

A) TCP/IP によるクライアント・サーバー形式

- ① 単純なプロトコルとネイティブコンパイラによる高速性。
- ② 主にローカルエリアネットワークでの使用を想定していますが、サーバーアドレスがグローバルであれば、どこからでもアクセスできます。UDP でなく TCP/IP のためデータ損失はありませんが、ネットワーク距離が長いとリアルタイム性にかけることがあります。
- ③ 複数のクライアント接続が可能です。

B) 音声のリアルタイム配信

- ① 音声データの優先順位を上げたことにより、通常 1 秒以下で途切れることなく音声を配信します。

C) 小さなネットワーク負荷

- ① ビデオ画像には動体検出機能、音声入力にはレベル検出機能を採用し、シーン変化があったときのみ、データを配信することができます。

D) 選択可能な画質、音質

- ① ネットワーク負荷と用途に応じて、任意の画質、音声圧縮方式（CODEC）を選択できます。Web カメラやマイクの性能を十分に発揮できます。

3. 応用例

A) テレビ会議

- ① 双方にサーバーソフトを入れることで、双方向でのテレビ会議が可能です。3 台以上での利用も可能です。
- ② 画質、音質を上げることで、臨場感溢れる品質が得られます。

B) 遠隔教室、放送

- ① サーバー能力およびネットの速度に依存しますが、最大 30 台までのクライアント接続に対応しています。
- C) ビデオ監視
 - ① 動体検出および音声レベル検出の敷居値を変更することで、シーンが切り替わった場合のみ画像を配信します。
 - ② 設定ファイルを切り替えることで一台の PC に複数のソフトを実行することができます。

4. システム要求条件

A) OS

Windows7,WindowsVISTA,XP

B) ネットワーク

10Mbps 以上推奨

C) Web カメラ

動作確認：Logicool WebCam シリーズ

Buffalo USB カメラ[*]

[*]BUFFALO 社製 USB カメラにおいては VGA サイズ(640X480)までが使用可能です。

D) マイク

ハンドセット推奨。ビデオ会議の場合エコーキャンセラタイプを推奨。

5. インストール・アンインストール方法

A) インストール

ダウンロードしたファイルを展開し、適当なフォルダにコピーします。展開した exe ファイルを起動します。必要に応じて、デスクトップにショートカットを作成してください。

サーバーソフト：RemoteCastServer.exe

クライアントソフト：RemoteCastClient.exe

B) アンインストール

インストール時に作成したフォルダを削除してください。また、レジストリは一切使用しておりません。

6. 操作方法

A) サーバー側操作

① カメラ設定・確認

「画像タブ」の「カメラ入力」で、Web カメラが選択されているかどうか確認し、「出力形式」で希望の解像度を選択します。

② マイク設定・確認

「音声タブ」の「機器」ボタンで、マイク入力を確認します。

③ 配信の実行

「配信ボタン」を押します。配信を止めるには、もう一度「配信ボタン」を押します。

B) クライアント側操作

① サーバー I P アドレスの設定

サーバー I P アドレス（またはホスト名）とポート番号を設定します。書式は I P アドレス：ポート番号となります。

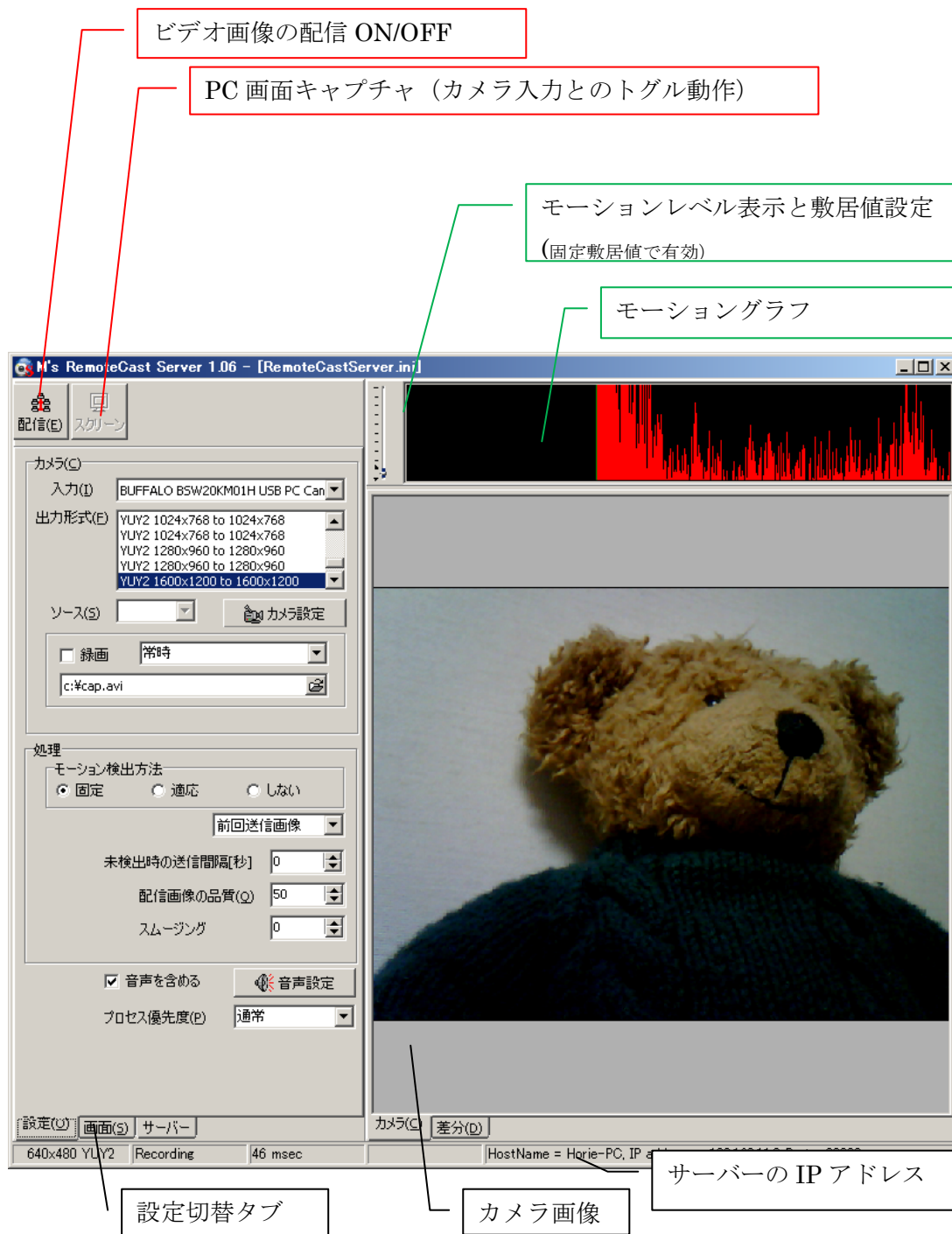
② 受信の実行

「接続」ボタンを押すと、画像および音声データの受信を開始します。もう一度押すと、受信を停止します。

7. 画面の説明

A) サーバーソフト

① メインウィンドウ



② 設定タブ

The screenshot shows the settings window for a video capture application, divided into 'カメラ(C)' (Camera) and '処理' (Processing) sections. Callouts provide detailed explanations for various settings:

- カメラ(C) 入力(I):** BUFFALO BSW20KM01H USB PC Can (Camera selection)
- 出力形式(E):** YUY2 1024x768 to 1024x768, YUY2 1280x960 to 1280x960, YUY2 1600x1200 to 1600x1200 (Resolution selection)
- ソース(S):** カメラ設定 (Camera parameters setting)
- 録画:** 常時 (Recording specification)
- ファイル名:** c:\%cap.avi
- 処理 モーション検出方法:**
 - 固定 (Motion detection method specification: Fixed)
 - 適応 (Adaptive)
 - しない (None)
 - モーション検出方法の指定:
 - しないにすると常時画像を送信します
 - 適応法では、定常的な揺らぎが検出されなくなります
 - モーション対象画像: 前回送信画像 (Motion target image)
 - 未検出時の送信間隔[秒]: 0 (Motion undetected minimum time interval (0 is OFF))
 - 配信画像の品質(Q): 50 (Quality is integer from 1 to 100)
 - スムージング: 0 (Smoothing is integer from 0 to 100)
- 音声:** 音声を含める (Include audio)
- 音声設定:** (Audio settings)
- プロセス優先度(P):** 通常 (Process priority specification)

このソフトのプロセス優先度指定

配信データに音声データを含めるかどうか。そのときの音声設定。

③ 画面設定タブ

日時表示の指定 (位置, 大きさ, 色)

コメントの指定 (位置, 大きさ, 色)

PC 画面キャプチャ時の領域指定

- ・デスクトップ全体
- ・フォアグラウンドウィンドウ
- ・フォアグラウンドウィンドウ内のクライアント

④ サーバー設定

ポート番号の設定
(一台のPCで複数のサーバーを実行する場合、別々の値に設定)

通信ログ
(終了時に RemoteCastServer.log を出力)

⑤ 音声設定

録音条件 (サンプリング周波数, ビット数, ステレオ・モノ, 配信中に変更可)

録音機器の選択 (マイク, ライン入力, ミキサーなど, 配信中に変更可能)

音声圧縮形式 (会話なら GSM, 音楽なら MP3 推奨)

ファイルへの録音を行うかどうかとファイル名の指定

音声レベルと敷居値設定 (敷居値以上で配信)

音声波形

音声

入力形式

機器 (M)

圧縮形式 (F)

録音

c:\cap.wav

音声レベルと敷居値設定 (敷居値以上で配信)

音声波形

B) クライアントソフト



6. 問い合わせ先

サポートサイト

<http://www.pluto.dti.ne.jp/~horie-ms/RemoteCast/index.html>

メール

horie-ms@pluto.dti.ne.jp